

西教寺報

去る十月七日行われた川原家仏式起工式の様子(関連記事は六頁)



第90号
 仏歴2546(2002・平成14)年
 9月20日発行
 呉市中央7-7-13
 西教寺蔵本通支坊
 TEL0823(21)2798
 FAX0823(21)2795
 郵便振替番号
 01340-3-29117

紙 面	
信天翁を「縁」に思つこと 岩崎正衛(住職)	1
お盆で帰省を「縁」に初参式	
お詫びと訂正・お礼	3
長ノ木本坊本堂修復経過のご報告	3
白道会天会	4
かみめたい三話し:久保田利数	4
安芸南組夏休み子ども大会	5
中岡シナヨ同行の歌	5
仏式起工式・仏式棟上げ式のすめ	6
西本願寺「正當」(御正念)	
報恩講団体参拜	6
誓子の日記:岩崎誓子	7
敬悼録	7
臼井哲実さん	7
西教寺法座と例会のご案内	8

あほうどり 信天翁を「縁」に思つこと

岩崎 正衛(住職)

八丈島のはるか南、伊豆諸島南端の鳥島が、今からちよつと百年前の一九〇二(明治三十五)年八月七日に大噴火し、島民百六十五人が全滅するという悲劇が起こりました。この島は、今では国際保護鳥にもなっている信天翁

この信天翁の羽が羽布団に最適なので、これだけの人間が渡つて捕獲し続けたのです。たまたま大噴火の前日に病氣療養のためにこの島を離れていた一島民の口によつて、信天翁はなんと百五十羽前後にまで減

少し絶滅寸前であつたことがわかりました。島民の全滅は悲しむべきことに違いありませんが、信天翁の立場からいふと、まさに「天佑(天のたすけ)」ともいふべきものだらうと思ひます(現在千五、六百羽まで回復しているそうです)。

私はこの話を聞いた時、すぐに金子みずさんの有名な「大漁」という詩を思ひました。

人間は人間の立場でしかものが考えられません。もつと言え、人間の中心でも自分自身を中心としたものの考え方をするのが当たり前のことのようになつてい

の天然の繁殖地で、最盛期には三万羽くらいいたそうです。ところが

必見

通り報恩講が始まります

別紙の「報恩講の心得とチェックポイント」と「報恩講日程表」をよくご覧の上、「準備ください」。

人間の中心でも自分自身を中心としたものの考え方をするのが当たり前のことのようになつてい



ヨイショ!

去る七月七日、川原家（施主川原キクエさん）では、家屋新築に当たり、仏式で起工式をされました。

仏式起工式・仏式棟上式のスヌメ

前号の仏式結婚式に続いて、仏式起工式のご紹介です。あまり知られていませんが、あるんです。するのはいちう簡単。準備するものはお仏飯とお花だけです。では、仏式は神式とどう違うのでしょうか。う？式中、お経の前の「表白」（下段枠内参照）にあるように、「諸難おこらざれと願う」「凡情」は誰でもが抱くものだといいつながら、しかし、仏智を聞く者は、どこか心の深いところでは教えの通

り「諸難起こらざる人生はなし」と思いとつて力強く日暮しをするのです。おれやお守り、破魔矢などを手放せず、色んなものに縛られて生活せずとも、お念仏さえあれば大丈夫だということば、安善門徒といわれたい先祖が証明済みのこと

です。だから仏式には「おまじない」や「お願い」はありません。仏式の起工式は、み仏とともにこれからの山あり谷ありの人生を強く明るく生き抜く心を大切に確認する式です。皆さんも是非どうぞ。

『表白』

ここに本日諸々の縁調い、敬しく阿弥陀如来の尊前を荘厳して仏子 川原家の止住する家屋を建立する起工式を営む。

およそ阿弥陀如来は、道理に暗き我ら凡夫を無量の智慧と慈悲とをもって調育照護し、金剛不壞の信心を恵みて、無明の長夜に無礙の一道を示したもう。

すなわち、諸難起こらざれと願うは凡情なりといえども、諸難起こらざる人生はなし。信心の智慧を賜れば、天神・地祇も敬伏し、魔界・外道も障碍することなし。罪惡も業報を感じることもあたはず、諸善もおよぶことなき無礙の一道なりと。

本日仏縁にあつ冀 願わくは深く因果の通りをわきまえて諸難を超越し、無礙の一道を歩み 諸事滞りなく完了して慈光あふれる新家屋の成就せんことを

時に仏曆 一五四六年（西曆 二〇〇二年七月七日 仏弟子 西教寺末学 釈正衛敬つて申す。

西本願寺ご正当（御正忌）報恩講団体参拝

7年ぶりに団体参拝バスツアーを企画いたしました。みなさん一緒にお参りいたしましょう。

日時/2003（平成15）年1月10日（金）～1月11日（土）

費用/38,000円 定員/45名 お申込・お問合せ/お寺まで（TEL・FAX・Email可）
主催/西教寺（TEL0823-21-2798 FAX0823-21-2795 Emailchinei63@enjoy.ne.jp）

1 / 10 (金)	7時頃	12時頃	17時20分
	呉	京都	御旧跡参拝 西本願寺聞法会館（泊）
1 / 11 (土)	6時30分	14時	20時20分頃
	西本願寺（晨朝・門信徒の集い・日中・特別講演・お斎）	西大谷	呉